

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

581-334

事務事業名	公衆浴場経営安定化助成事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	水道環境部	課等名	環境課		包含する細々目	1	4	1	4	11	2		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり												
施策	45 居住基盤の向上												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要							
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等	・公衆浴場法 ・長野県公衆浴場設備改善事業等補助金交付要綱 ・飯田市公衆浴場経営安定化事業等補助金交付要綱							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	一般公衆浴場経営者	一般公衆浴場数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			1			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
公衆浴場経営の安定経営	補助を行なった施設数	18目標	1	最終目標		
		18実績	1	19目標	1	↑
		23目標	1	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	公衆浴場の経営の安定化を図り、公衆衛生の向上のため、公衆浴場経営者に対し、経営に要する経費の一部を補助する事業。 県より1施設17万円 市より1施設17万円 補助対象施設は17年度2件であったが、17年12月いっぱい1件廃業となっていたため、18年度は1件のみ	公衆浴場が経営持続可能になるよう、要綱に基づき補助金を交付していく。 補助金の支出	件数 件数	1 1
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金	170	170
	起債		
	その他		
一般財源	170	170	
事業費計(A)	340	340	
人件費	正規職員所要時間	18年度 40	19年度 40
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	143	143
	トータルコストA+B	483	483

特定財源内訳や補足事項	長野県公衆浴場設備改善等補助金交付要綱
-------------	---------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	生活に必要な基盤が整う	居住の満足度	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
県での補助事業が発足し、市でも交付要綱を定めた。	施設の老朽化、経営者の高齢化と入浴者数が減っており経営が困難な状況となっている。 17年12月31日で1件廃業となった。	公衆浴場が無くならない様という市民の声がある。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	実施年度 <input type="text"/> 公共衛生の向上のために経営されている公衆浴場に対し、安定した経営ができるよう補助していく。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	公衆浴場1件に対する補助

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	